クロストーク

私たちの、仕事のこと、子育てのこと。

本年1月より育児・介護休業法改正が施行されました。改正の目的は、子育てや介護をしながら働く人たちが、支援制度を取得しやすくなることです。しかし、各家庭の状況や環境は違い、多くの苦労があることには違いありません。今回は、実際に子育て支援制度を利用している皆さんにお集まりいただき生の声を伺いました。

休めない時に限って子供が発熱

森山　現在のご自身の状況について教えてください。

戸口　娘が小学校3年生で9歳です。前後1時間ずつの時間短縮（以下時短）で午前9時半から午後4時半までの6時間勤務です。

篠川　息子が4歳、娘が2歳で、どちらも早生まれで同じ保育園に通っています。朝9時15分から午後4時半までの勤務で1時間45分時短しています。

磯貝　娘が二人、5歳と3歳6カ月で同じ保育園に通っています。朝10時から午後4時までの勤務で3時間の時短です。

森山　仕事と子育てで困っていること、悩んでいることはありますか？

篠川　子供は突発的に熱などが出ることがあるので、急に仕事を休まなければならなくなることです。ですので、その日にやるべき仕事は翌日に残さないように意識しています。

戸口　大変だったのは小学校2年生ぐらいまででした。保育園だと朝早い時間から延長を使って午後7時半まで預かってもらえていました。当時の小学校の学童保育では始業は午前8時から。午後6時になったら帰されてしまったので、送り迎えの時間に全く余裕が無くとにかく走っていました。今は学童ではなく、友達と遊んだあとに習い事に行くようになりましたので、以前よりは楽になりました。

磯貝　今日は絶対にやらなければならないことがある時に限って、子供の熱が出て休まざるをえない状況になることもあります。そんな時、職場の皆さんに迷惑をかけてしまうこともありますが、支えてもらって何とかやっています。

森山　確かに、子供の健康状態は、先が見えないので仕方がないところもありますよね。

篠川　その日のうちにその日の仕事を片付けようとすることは大変ですが、仕事をしている時間は家庭の様々なことに振り回されず、自分の思うようにできるので、ある意味楽な時間だと思っています。私の場合、周りの方が積極的に良い環境を作って支えてくれているので、恵まれていると思います。人間関係には大変気を使いますが、自分も支えてもらっている分、同じ部署の皆さんの仕事を、いくらかでもフォローできるように意識しています。

磯貝　帰り間際の時間にバタバタしていると「大丈夫？」と声をかけてくれるので、とてもありがたいです。私が日々心掛けているのは、仕事の状況をしっかりと共有、引き継ぎをすることです。私がいない時でも、仕事が止まらず対応してもらえるようにしています。

戸口　私の部署は人数が少なく、日頃からコミュニケーションをとっているので、日々、それぞれの仕事の内容が共有しやすくなっています。

復職時は右も左も分からず新入社員と同じ状況に

森山　今回この特集を組むにあたって、現在育児休業期間（以下育休）中の方（※）にもご協力いただきお話を伺ったのですが、その中で復職後の勤務について心配だという声がありました。皆さんが育休から復職した時はいかがでしたか？

戸口　復職した2008年の入社は女性社員が多く、本社の女性の数が圧倒的に増えていたので、違う会社に戻ってしまったと思いました（笑）。

磯貝　私も戻ってきた時に、社長が代わっていたり、女性社員が代わっていたり…。主人も社内の人なので、育休中もできるだけ会社の情報を聞くようにしていました。でも社内のシステムも変わっていましたし、電話機も変わっていたので、電話をどう取ったらよいか分からなくて（笑）。「新入社員に戻った気持ちで頑張ります」と部長に言った記憶があります。

森山　篠川さんと磯貝さんは2回育休をとっていますよね。2回とも同じ感じでしたか？

磯貝　私は2回目の育休に入る前に2カ月ほど復職しました。その時に、システムが変わっている状況を知り、心の準備が出来ていたのは大きかったです。

篠川　私は息子の時は、復職の際、元にいた部署で同じメンバーでした。娘の時は、営業が総合営業体制に変わった時期で、私以外6名いたメンバーのうち5名が違う人に代わっていました。部署では私が一番古株なのですが、一番の新人。システムも一から覚えていかねばならず、人間関係も一から作らなければなりませんでした。

森山　現在の育休では、なるべく今までいた部署に復職するという制度になっていますが、その部署のメンバーが変わってしまっていたら、新しい部署に異動したのと同じですよね（笑）。

篠川　私の場合は入社以来異動がなかったので、新しい部署に異動した気分は味わえたのかなと思っています。何事も考え込まずに前向きにです（笑）。

森山　私は産休明けで復職したので、体力的にかなりきついと感じていました。皆さんの場合は、育休があって、お子さんがある程度大きくなってからの復職なので違うとは思いますが、体力的な部分はいかがでしょうか？

磯貝　最初は慣れなかったのですが、時間の無い中でも、日々のルーチンをこなしていくうちに、だんだんと慣れてきました。

篠川　私は二度目の復職の時期が冬で、毎晩子供が風邪をひかないように、夜中に布団を直すのが日課で完全に寝不足状態でした。毎朝起きると疲れを感じたので、栄養ドリンクを飲んで仕事に出てきていました。

家事ができなくてもお互いに責めない

森山　ご主人の家事や育児に対する協力はいかがでしょうか？

磯貝　うちの主人は特殊な勤務時間なので、なるべく家にいる時間は子供と一緒に過ごして欲しいと思っています。ですので主人には家事をやって欲しいというよりは、子供と十分に遊んであげて欲しいと思っています。

篠川　家事は私がすることが多いのですが、子供を寝かしつける時に私が一緒に寝てしまった場合、洗い物をやっておいてくれます。それはとても感謝しています。

戸口　主人は仕事の関係で、私と子供が寝た後に帰ってくることも多いのですが、子供が小さいころには、私よりも子供の面倒を見てくれたかもしれません。子供が夜泣きしても私が疲れて起きられない時には、主人が起きてあやしてくれることもありました。

森山　皆さんの話を聞いていると、ご主人に対して、明確な家事分担などを決めていないように感じますが、いかがでしょうか？

磯貝　そうですね。主人も仕事をしていますので、そのあたりはフィフティフィフティで、家事はできる人がやれば良いと思います。

戸口　うちも決めてはいないですね。できる人ができるところをやる。ただ、私は現在時短を使っているので、必然的に家事の割合は多くなっています。

篠川　うちは、なんとなく分担は分かれているのですが、それをできなくてもお互いが責めない暗黙の了解が出来ています。

森山　これは誰の仕事と決めてしまうと、やってくれないとイライラすることもありますよね。あえて決めないことで、もしやってくれたら「やってくれてありがとう」と気が楽になる効果はありますよね。

育児で後悔はして欲しくない

森山　これから仕事をしながら子育てをしていく人たちに伝えたいことはありますか？

戸口　私の住んでいる品川区は子育て支援制度が整っている方ですが、第4希望でようやく歩いて通える保育園に入ることができました。電車を利用しなければ通えない場所であれば、送り迎えで仕事ができなかったかもしれません。保育園の待機児童問題は仕事を続けるにあたっても大切なポイントになると思います。

篠川　保育園は周りのご家庭の状況を見ると、転園申請することも可能なようなので、待機児童になるよりも、まず入ることを目的にするのも良いかもしれないと思いました。

磯貝　私は見学にもしっかりと行き、申込書には現状について全て書き、区役所にも直接相談に行きました。これがよかったかどうかはわかりませんが、やはり良かれと思うことは全てやることが大切かもしれません。そして何よりも、仕事と育児は両方こなしていかなければならないのですが、絶対に育児で後悔する働き方はして欲しくないと思います。

森山　そうですね。子供が小さい時は、子供の成長にあわせて育児に力を入れなければならない時期はあります。それを周りの人が理解することは大事だと思います。家庭を大事にする時期は育児だけではなく、今後は介護のことも考えていく必要があるかもしれません。そういう悩みがある時は、全て自分で背負い込まないで、周りの人や人事課にご相談いただければと思います。どんな制度を利用すれば、その時間を作り出せるのかの相談や、サポートができると思います。皆さん、本日はありがとうございました。

総務部 人事課
森山 依子課長（ファシリテーター）

経営戦略部 経営企画課
磯貝 加菜さん

成長戦略推進室
戸口 庸子さん

営業本部 営業統括部 統括課
篠川 晃子さん

※経営戦略部 経営企画課 吉村 真弓さん、営業本部 総合営業部 業務課 成澤 恵里さん、交通事業本部 車両工事部 かしわ台事業所 松本 淳さんにご協力いただきました。